



ニギス（日本海系群）①

ニギスは日本沿岸に広く生息しており、本系群はこのうち青森県から島根県の日本海沿岸に分布する。



図1 分布図

水深60～200mの砂泥底に分布する。本系群は青森県から島根県に至る沿岸で、主に底びき網によって漁獲されている。

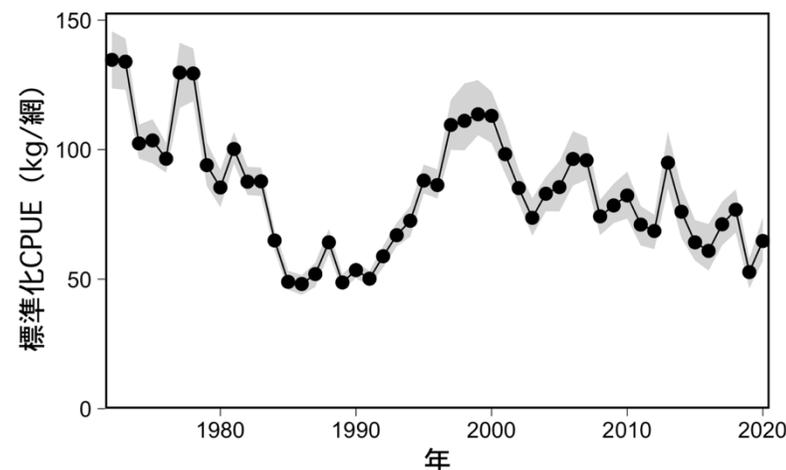


図2 漁獲量の推移

漁獲量は1975～1983年は1万トン前後で推移したが、以後増減を繰り返したのち、2002年以降は緩やかな減少傾向が続いている。2020年には統計開始以降の最低値となる1,894トンであった。

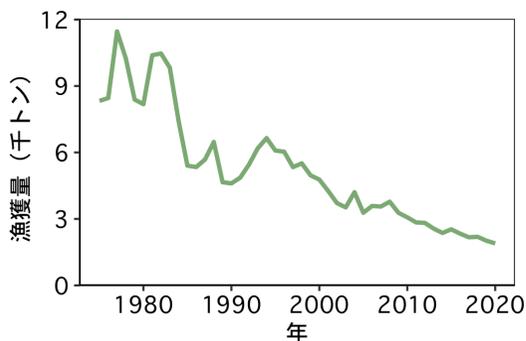


図3 資源量指標値の推移

1そうびき沖底の標準化CPUEを資源量指標値とした。1970年代には過去最高値の129.7 kg/網を含む高い水準で推移したが、2000年以降はやや減少傾向で推移している。2020年は64.7 kg/網であった。

ニギス（日本海系群）②

本系群で使用可能なデータは漁獲量と資源量指標値である。したがって、「令和3（2021）年度 漁獲管理規則およびABC算定の基本指針」の2系規則を適用する。

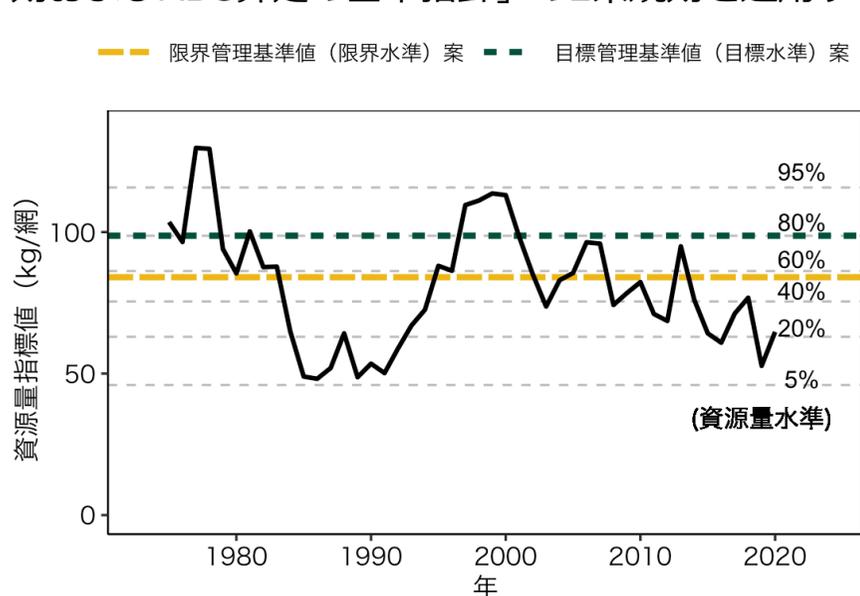


図4 資源量水準および管理基準値案

資源量指標値（黒線）の推移から求めた資源量水準に基づき、80%水準を目標管理基準値（緑線）、56%水準を限界管理基準値（黄線）として提案する。

2020年の資源量指標値（64.7）は22.4%水準に相当するため、限界管理基準値案を下回る。

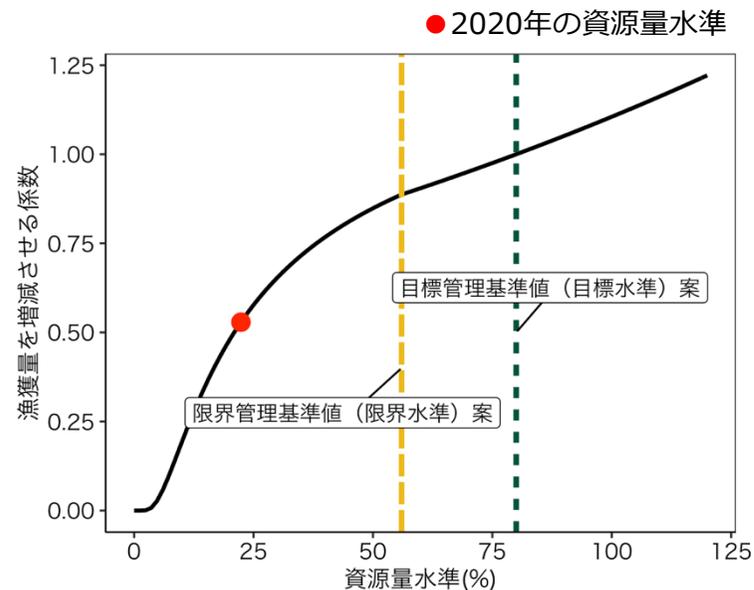


図5 漁獲管理規則案

資源量水準に応じて漁獲量を増減させる係数（黒線）を決める漁獲管理規則を提案する。資源量水準が目標管理基準値案（緑線）を上回った場合は漁獲量を増やし、下回った場合は削減する。

現状（2020年）の資源量水準（22.4%）における漁獲量を増減させる係数（赤点）は0.529である。

ニギス（日本海系群） ③

● 5年平均漁獲量 ● 2022年の予測値

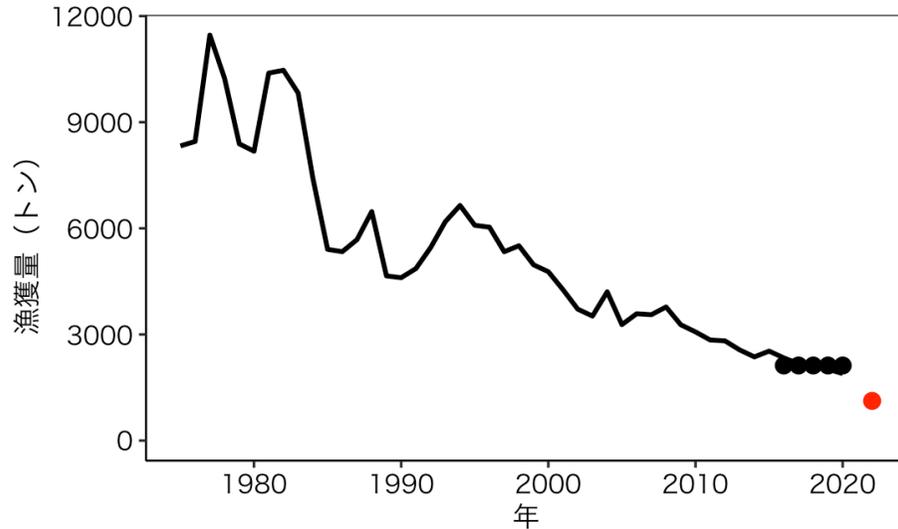


図6 漁獲量の推移と2022年の予測漁獲量

直近5年（2016～2020年）の平均漁獲量（黒丸、2,122トン）に2020年の資源量水準から求めた漁獲量を増減させる係数（0.529）を乗じて算出される2022年の予測漁獲量は、1,122トン（赤丸）となる。

	資源量 指標値 (kg/網)	資源量 水準	漁獲量を増減 させる係数
目標管理基準値 (目標水準) 案	98.7	80%	1.000
限界管理基準値 (限界水準) 案	84.1	56%	0.887
現状の値 (2020年)	64.7	22.4%	0.529

資源量指標値の推移から求めた資源量水準と目標管理基準値案および限界管理基準値案の位置関係に基づき漁獲量を増減させる。2020年の資源量水準は22.4%であることから、2022年の予測漁獲量は1,122トンと算出される。